

# ふくしまっ子

## 体力向上総合プロジェクト

H28. 7. 1  
第14号  
福島県教育庁  
健康教育課

### 体力向上に関する体育指導担当者研修会 その4

会津・南会津地区の研修会の様子をお伝えします。

#### 会津・南会津地区

平成28年6月3日（金） 会場：下郷ふれあいセンター

#### 【実践発表】

○ 運動身体づくりプログラムの実践について

南会津町立南郷小学校 教諭 三瓶 克 様  
主運動との関わりや弱点を補うための補助運動という視点から、プログラムを組み立てている。子どもが思わずやってみたくなる、動きたくなる空間を作っていくというアイデアに、体力向上のヒントが隠されているということがうかがえた。

○ 体育専門アドバイザーの効果的な導入について

猪苗代町立緑小学校 教諭 菅井 明人 様  
アドバイザーとの事前打ち合わせが不十分な現状だが、本時で何を見、何をしてほしいのかを明確にしてアドバイザーに伝えているとのことである。担任の目では見取りきれない子どもの動きもアドバイザーがよく見取っていることがうかがえた。

○ 部活動や武道等授業における外部指導者の活用について

会津坂下町立坂下中学校 教諭 原 裕子 様  
事業計画書や報告書を基に、バドミントン部や卓球部の活動について紹介していただいた。顧問と外部指導者の役割を明確にして練習や大会に臨むことで、生徒のやる気が増していったり力が付いていったりしていることがうかがえた。

#### 情報交換



今回も「自分手帳」についての情報交換を行いました。5～6人のグループで、体力向上に生かせる自分手帳の取組について話し合いました。参加した先生方からは次のような話題が出ました。

- ・ 自分手帳を長期的に続けて活用していく。すぐに成果は出ないが続けていくことが大事。（小学校）
- ・ 教科の担当のみに任せていては有効な活用は難しい。学校全体としての取組が必要である。（中学校）
- ・ 生徒一人一人が手帳を自己管理して担任や担当の指示に沿ってこまめに記入することを続けていきたい。（高校）

（文責 健康教育課 指導主事 塩田 俊郎）